

莊司 勇太

活動の概要



活動地域 柿崎区東横山集落

活動期間 令和4年5月9日~

令和7年3月31日

活動内容(ミッション)

- ①農業支援 稲作の技術取得と就農に向けた 取組
- ②特産品開発に向けた取り組み
- ③地域活動や共同作業の支援
- 4情報発信に向けた取組



活動① 稲作技術習得と就農に 向けた取り組み

最初は分からないことだらけでしたが、地域の方の指導の下、技術習得に取り組みま した。2年目からは実習田を用いて、育苗から稲刈りまで、一通り自分で栽培管理を 行いました。



田植え後の水田



無農薬田んぼの草取り。大変な仕 事ですが、やりがいもあります。



秋晴れの空の下、稲刈り



活動②特産品開発に向けた取り組み



大出口の名水を使った イワナの養殖。 稲刈りのイベントなどで 塩焼きにしました。



そばの栽培も学びました。 雨不足で育たないことやイノシシに荒らされることもありました。今後は、そば打ちにも挑戦してみたいと思っています。



東横山の特産品 干柿作りのため の柿収穫



活動② 特産品開発に向けた 取り組み



自然薯の栽培。そばの つなぎとしても需要が あります。今年は山で 天然物も採りました。



銀杏の収穫。 実から種を取る作業は 大変ですが、おいしい 銀杏がとれました。近 くの民宿で使っていた だきました。

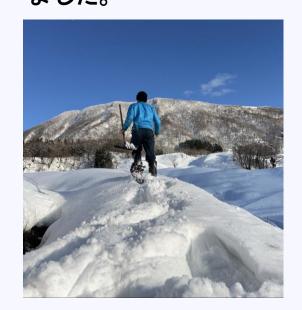


甘味があっておいしい東横山の 白菜。退任後の経営にも取り入 れていきたいと思います。



活動③ 地域活動や 共同作業の支援

春の野焼きや農業用水の清掃、草刈りなど様々な共同作業に参加しました。 また、環境整備の一環として倒木の片づけや農道沿いの杉の枝打ち、伐採を行い ました。



冬は落ち葉などで用水路が あふれることがあるので、 スノーシューをはいて定期 的に見回りをしました。



杉林の枝打ち。集落が明る くなったと地域の方から喜 ばれました



春の野焼き



活動4 情報発信に向けた 取り組み





平成の名水百選にも選ばれ た大出口泉水。東横山でも 一番景色がよく多くの人が 訪れるため、草刈りなど環 境整備に力を入れました。 農業体験イベントも行われ、 その手伝いなどを通じて、 東横山の魅力をPRしました

かつてのキャンプ場管理棟。 草に覆われて放置されていま したが、整備を行い、今年は 農業体験イベント参加者の宿 泊にも利用しました。現在、 周囲の山林の整備も行い、さ らなる用途拡大を模索中です





その他の活動



地域の高齢者宅の除雪支援。3年目の今年は大雪の年でしたが、集落内で助け合って生活しました。



ジビエ肉処理施設での 精肉作業。罠猟、猟銃 免許も取得しました。



ニワトリの飼育。鶏糞の利用なども考えています。





3年間を振り返って

- 口 柿崎区は、私にとって見ず知らずの土地であり稲作の経験もなかったため、最初の頃は分からないことだらけでした。協力隊の活動や地域の祭りなどを通じて知り合いも増え、徐々に地域になじむことができたと感じています。本当に多くの方に支えられて3年間続けることができたと感じています。
- ロ 田んぼについては、1年目は言われた作業をこなすだけで精一杯でした。 2年目からは作業の流れがわかるようになり、自分で段取りを考えたり して農業の楽しさがより感じられるようになりました。
- □ 3年間暮らしてみて、東横山は名水もあり自然環境豊かな場所であることを再認識しました。農業体験などを通じて、都市部や平地に暮らす人たちにも東横山の魅力を伝える手伝いができたと思います。今後も東横山の棚田を、地域の貴重な財産として未来へ引き継いでいけるよう力を尽くしていきたいと思います。

退任後の見通しについて

- ロ4月からは農業者として独立し、東横山で営農を開始します。水稲は、 コシヒカリと酒米を栽培します。コシヒカリは一部無農薬栽培も行いま す。水稲のほかには、そばを栽培する予定です。まだ具体的には決めて いませんが、野菜なども直売所に出荷したいと思っています。
- □ 東横山集落は高齢化が進んでおり、近い将来、耕作できない田んぼが出てくることが予想されます。地域の田んぼの担い手として、できるだけ多くの田んぼを耕作できるよう努力したいと思います。
- □ 東横山の魅力をアピールする活動を今後も続けていきたいと思っています。農業体験の受け入れや、地域に新たな移住者を呼び込むための活動も行っていきます。同時に東横山や柿崎区で新たに農業をしたいという人のサポートができたらと思っています。最初はできることは少ないかもしれませんが、小さなことからでも始めていこうと思います。
- □ 定住後も大変なことも多くあると思いますが、人とのつながりを大切に 今後も地域の発展に尽くしていきたいと思います。